



「生徒の声」

私は、最近疲れていて、体が重くて、ちょっと大変な状態です。生徒も体調を崩して、休んでいる人も多いです。年度末のこの時期は、まとめの時期なので忙しい日々を過ごしています。

3年2組の授業に行こうと階段を上がっていくと、この時間に実施する予定のテストプリント2枚のうちの1枚を持っていないことに気づきました。「あっ！プリントと忘れている。何やってんだ！」と自分自身を叱責して職員室に取りに戻りました。職員室でプリントを探したのですがありません。プリントをどこに置いたのかわからなくなってしまいました。仕方がないので、もう一度プリントを刷り直して、2組の教室に向かいました。2組の男子生徒が私を呼びに来てくれて、階段を上がったところで男子生徒と会いました。生徒が「先生、大丈夫ですか？」と声をかけてくれました。生徒の何気ない一言の中に優しさを感じました。教員生活約40年ですが、今までこの仕事を続けられたのは、いろいろありますが、辛いときや苦しいときに、生徒の何気ない一言で救われたことが大きいと思います。ちょっと、バイオリズムが落ちていましたが、この男子生徒の一言で元気が戻りました。「ありがとう！」

私も生徒の気持ちが高まるようなアドバイスができる教師にならなければと思いました。